

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 ログリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6579 URL <https://corp.logly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 浩和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 岸本 雅久 TEL 03(6277)5617
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）
(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,272	△9.8	63	—	57	—	37	—
2022年3月期第2四半期	1,411	△37.4	△10	—	△14	—	△48	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 38百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △48百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	10.31	10.23
2022年3月期第2四半期	△13.22	—

(注) 2022年3月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,888	527	27.4
2022年3月期	1,960	489	24.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 516百万円 2022年3月期 478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期（予想）			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,376	△11.4	48	93.4	45	97.6	42	—	11.37
	～2,441	～△9.0	～83	～231.9	～75	～226.1	～60	—	～16.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	3,803,000株	2022年3月期	3,803,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	145,360株	2022年3月期	145,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	3,657,640株	2022年3月期2Q	3,693,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響に加え、急激な円安による物価高騰がみられるなど、先行きが不透明な事業環境が継続しております。

他方、日本の総広告費は2021年には、前年比110.4%の6兆7,998億円となり、広告市場全体が大きく回復しました。当社の事業が属するインターネット広告市場は、前年比121.4%の2兆7,052億円となり、マスコミ四媒体広告費の総計2兆4,538億円を上回りました。なお、「運用型広告」は、前年比126.3%の1兆8,382億円となり、インターネット広告費が総広告費全体をけん引する結果となっております（出典：株式会社電通「2021年 日本の広告費」による）。背景として、インターネット広告のみで解決できないマーケティング課題を、従来からある媒体と組み合わせるなどして解決する統合ソリューションの進化が進み、データやテクノロジーを活用し、各媒体の強みをさらに高めていく動きが顕著になったことによるものと考えられます。その一方で、個人情報保護の高まりによりcookie規制の取り組みが進められたり、コンプレックスを強調して購買行動を煽るコンプレックス広告に関する規制の要望の高まり等、インターネット広告業界全体に高いコンプライアンス意識が求められるようになっております。

このような状況の中、当社はネイティブ広告プラットフォーム「LOGLY lift」を軸に、広告主（代理店を含む）の広告効果最大化や媒体社（以下メディア）の満足度向上を実現することにより、市場シェアを順調に拡大しました。前連結会計期間においてLOGLY liftのポートフォリオ戦略をさらに強化し、かつメディアとの関係を強化したため取り扱う広告が多分野に拡大し、特定分野への依存度が軽減され、結果的に安定的な広告受注につながる事となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,272,627千円となりました。また経常利益は57,711千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,661,022千円となり、前連結会計年度末から64,194千円減少しました。これは主に売掛金が73,605千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は227,212千円となり、前連結会計年度末から8,466千円減少しました。これは主に投資その他の資産の減少7,117千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は870,909千円となり、前連結会計年度末から16,758千円増加しました。これは主に買掛金が19,928千円、未払消費税等が18,160千円増加した一方、前受金が18,668千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は490,310千円となり、前連結会計年度末から127,260千円減少しました。これは長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は527,015千円となり、前連結会計年度末から37,840千円増加しました。これは主に、利益剰余金が37,713千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金同等物（以下「資金」という）の残高は、1,421,467千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は182,788千円となりました。これは主に、売上債権の減少74,265千円、仕入債務の増加19,928千円、未払消費税等の増加14,544千円、前受金の減少18,668千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は1,176千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,176千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は127,260千円となりました。これは、長期借入金の返済によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月12日付「2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては変更ありません。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響が2023年3月期も通期に渡り継続すると仮定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,377,127	1,431,479
受取手形	2,640	1,980
売掛金	241,052	167,447
その他	104,396	60,115
流動資産合計	1,725,216	1,661,022
固定資産		
有形固定資産	29,005	27,656
投資その他の資産	206,673	199,555
固定資産合計	235,678	227,212
資産合計	1,960,895	1,888,235
負債の部		
流動負債		
買掛金	312,730	332,659
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	254,520	254,520
未払金	16,619	17,014
未払法人税等	23,207	22,966
前受金	120,647	101,978
賞与引当金	19,951	20,172
その他	6,474	21,598
流動負債合計	854,150	870,909
固定負債		
長期借入金	617,570	490,310
固定負債合計	617,570	490,310
負債合計	1,471,720	1,361,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	407,687	407,687
資本剰余金	595,403	595,403
利益剰余金	△397,830	△360,116
自己株式	△126,866	△126,866
株主資本合計	478,393	516,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	346
その他の包括利益累計額合計	—	346
新株予約権	10,781	10,561
純資産合計	489,174	527,015
負債純資産合計	1,960,895	1,888,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,411,171	1,272,627
売上原価	1,072,636	960,281
売上総利益	338,534	312,346
販売費及び一般管理費	348,673	248,868
営業利益又は営業損失(△)	△10,138	63,478
営業外収益		
受取利息	10	10
為替差益	—	624
雑収入	696	290
営業外収益合計	706	925
営業外費用		
為替差損	7	—
支払利息	1,679	1,878
投資事業組合運用損	3,083	3,263
その他	0	1,549
営業外費用合計	4,770	6,692
経常利益又は経常損失(△)	△14,202	57,711
特別利益		
新株予約権戻入益	—	219
事業譲渡益	—	3,301
特別利益合計	—	3,520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,202	61,232
法人税、住民税及び事業税	34,619	23,518
法人税等合計	34,619	23,518
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,821	37,713
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,821	37,713

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△48,821	37,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	346
その他の包括利益合計	—	346
四半期包括利益	△48,821	38,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,821	38,060
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,202	61,232
減価償却費	2,561	2,525
のれん償却額	42,330	—
受取利息及び受取配当金	△10	△10
支払利息	1,679	1,878
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,174	220
投資事業組合運用損益(△は益)	3,083	3,720
売上債権の増減額(△は増加)	96,761	74,265
仕入債務の増減額(△は減少)	△43,873	19,928
前受金の増減額(△は減少)	△2,566	△18,668
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,278	14,544
その他	△59,645	14,465
小計	△20,985	174,102
利息及び配当金の受取額	788	9
利息の支払額	△1,679	△1,878
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△87,809	10,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109,685	182,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,012	△10,012
定期預金の払戻による収入	10,011	10,012
有形固定資産の取得による支出	—	△1,176
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△618,536	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618,536	△1,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	750,000	—
長期借入金の返済による支出	△113,924	△127,260
自己株式の取得による支出	△49,845	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	586,230	△127,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,991	54,351
現金及び現金同等物の期首残高	1,629,249	1,367,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,487,257	1,421,467

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。